

STAR

ラッピングマシン

取 扱 説 明 書

製品コード

型

式

K49473

SWM0830

部品ご注文の際は、ネームプレートをお確かめの上、
部品供給型式を必ずご連絡下さい。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

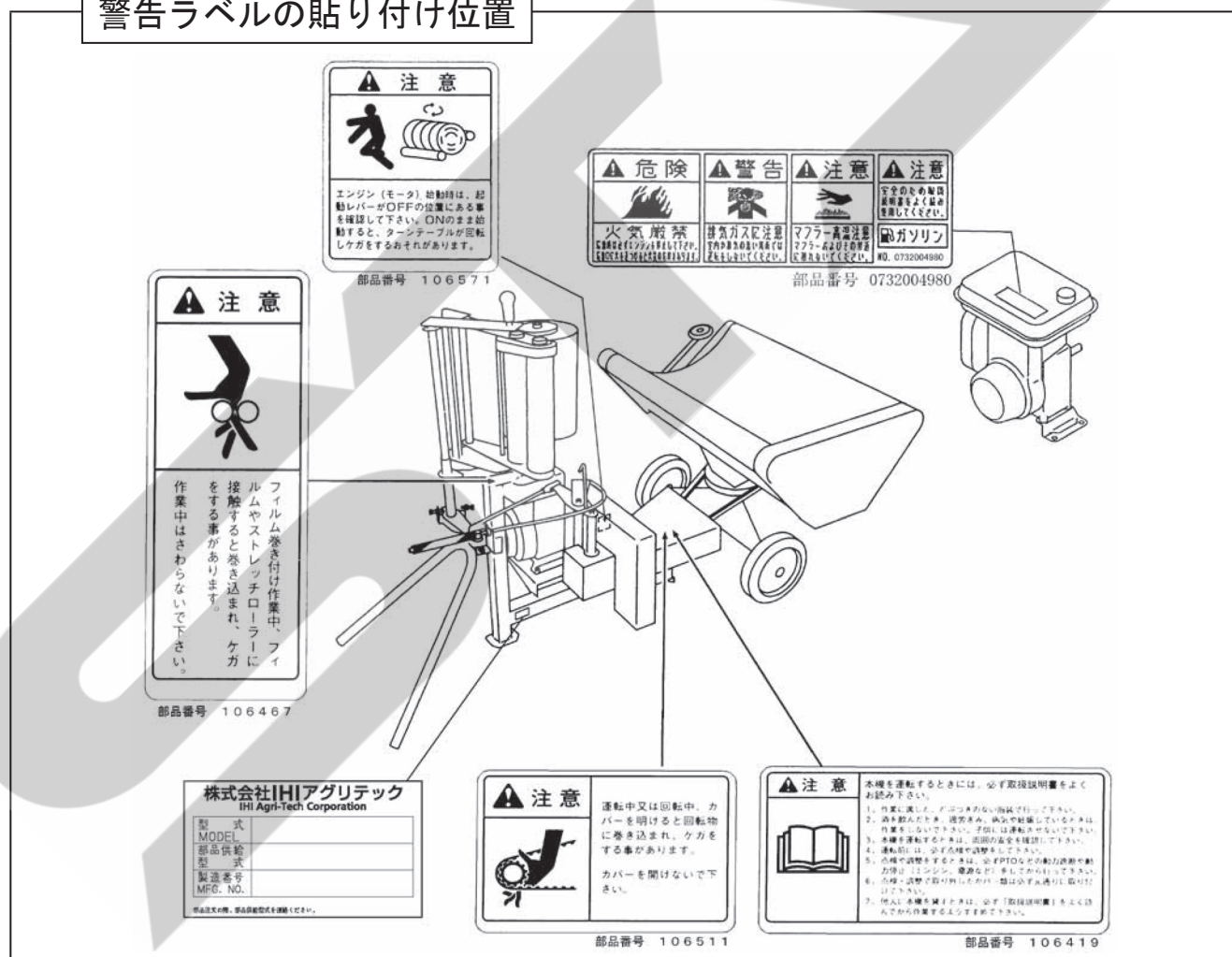
⚠ 安全に作業するために

安全に関する警告について

⚠印付きの警告マークは安全上、特に重要な項目を示しています。
警告を守り、安全な作業を行ってください。

- ⚠ 危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
- ⚠ 警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
- ⚠ 注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

警告ラベルの貼り付け位置



ー ラベルが損傷したときは ー

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大切なものです。
ラベルが損傷したときは、すみやかに貼り替えてください。
注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じるおそれがあります。

作業前には、作業機およびエンジンの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

作 業 前 に

取扱説明書は製品に近接して保存を

⚠ 注意

- 機械の取り扱いで分からない事があったとき、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があったときにすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

⚠ 注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始めるときは、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんなときは運転しないでください

⚠ 警告

- 体調が悪いとき、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - ☐ 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
 - ☐ 酒を飲んだとき。
 - ☐ 機械操作が未熟な人。
 - ☐ 妊娠しているとき。

服装は作業に適していますか

⚠ 警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。

- ☐ 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ☐ ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- ☐ ヘルメットを着用する。
- ☐ はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸すときは

⚠ 警告

- 機械を他人に貸すとき、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

⚠ 注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換するときは、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

⚠ 警告

- 機械を使用するときは、取扱説明書に基づき始業点検を行い、異常箇所は必ず整備を行ってください。守らないと、機械の破損を引き起こすだけでなく、機械に巻き込まれる等の思わぬ事故により、死亡または重傷を負う危険性があります。

エンジンを始動するときは

⚠ 危険

- エンジンに燃料を補給するとき、くわえタバコや裸火照明の元で行うと燃料に引火し、ヤケドをする事があります。火気の前で燃料を補給しないでください。

⚠ 警告

- エンジンが熱い間に、給油すると引火しヤケドをする事があります。熱い間は給油しないでください。
- エンジン始動時は、起動レバーが「OFFの位置」になっている事を確認してから始動してください。起動レバーが「ONの位置」で始動するとターンテーブルが回転し、ケガをするおそれがあります。

- 室内で始動するとき、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

⚠ 注意

- エンジン始動時は、周囲の人に合図をして、安全を確認してから始動してください。
- 冷却ファンやリコイルスターター周囲からゴミ、草およびその他のくず等は取り除いてください。

移動・据え付けのとき

⚠ 警告

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速で移動してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を移動すると転落事故を起こす事があります。
路肩は移動しないでください。
- 高低差の大きい段差を乗り越えようとすると、転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると転落し、ケガをする事があります。
また、物を乗せて移動すると、落下あるいは、転倒・横転し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
作業機の上に人や物などは、乗せないでください。

⚠ 注意

- 作業機への動力を切らないで移動すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動するときは、エンジンを切ってください。
- 傾斜地や凹凸地または、軟弱地などに据え付けると、機体の安定性が悪くなり、不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい場所に輪留めを行い、機体をしっかりと固定してください。

作業中は

作業するとき

⚠ 危険

- 運転中または回転中、ターンテーブルなどに接触すると、ケガをする事があります。
周囲の人を近づけないでください。

⚠ 警告

- いびつなボールや軽いボールをラッピングするとボールが振り落とされ、ケガをする事があります。
作業しないでください。

- ハウス内などの室内作業をするとき、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓・戸などを開け、十分に換気をしてください。

⚠ 注意

- 運転中または回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。
カバーを開けないでください。
- フィルム巻き付け作業中、フィルムやストレッチローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
作業中はさわらないでください。
- 機械の調整や付着物の除去などを行うとき、エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

作業が終わったら

機体を清掃するときは

⚠ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

作業点検の励行

⚠ 注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整や不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をするとき

⚠ 注意

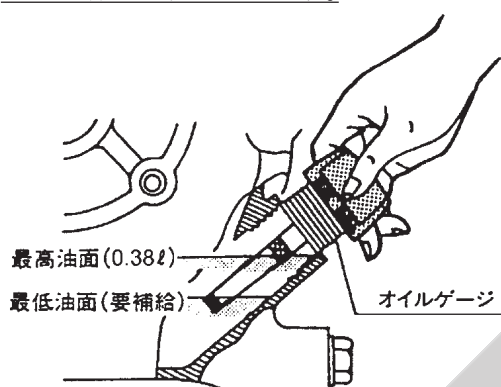
- 機械に異常が生じたとき、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- エンジンをとめず作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

● 初めて使用する前に

初めて使用する前に次のことを行ってください。

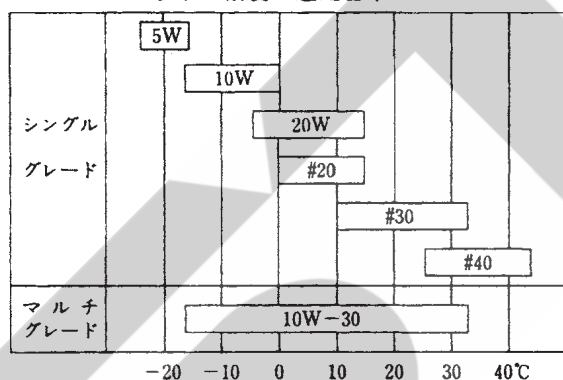
1. エンジンオイルを点検してください。

- エンジンオイルが規定量入っているか点検し、少ない場合は正規油面まで補充してください。機体が水平状態で、エンジンオイル注入口からオイルゲージをねじ込まないで計り、オイルゲージの上のきざみ線まで入れてください。オイル容量は約 0.38ℓです。



- オイルは外気温度に応じ、下表粘度の自動車用エンジンオイルを使用ください。

オイル粘度の選定基準



取扱い上の注意

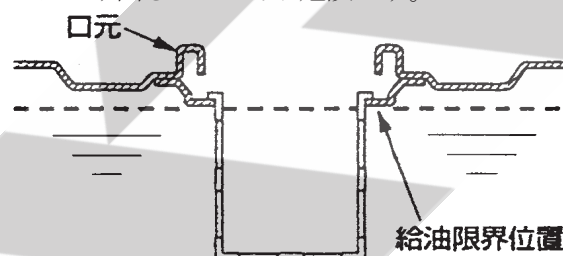
- エンジンオイルの質および、量の低下は焼付けトラブルをまねきます。オイルの品質はSE級以上のものを使用ください。
- 外気温度が-20℃以下および、40℃以上の場合は、現地に適合した粘度・品質のものを使用ください。
- マルチグレードを使用の場合、外気温度が高いときオイルの消費量が増す傾向にありますので注意願います。

2. 燃料の量を点検してください。

- 燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用してください。タンク容量は約 1.5ℓです。

取扱い上の注意

- 燃料は給油口の口元まで入れず、所定の給油限度位置以内で補給してください。いれすぎると燃料タンクキャップから燃料がにじみ出ることがあり危険です。



- 燃料給油時には、給油口に装着してある燃料コシ網を必ず使用してください。

⚠ 危険

- 給油口に火気を近づけると、火災になる事があります。火気に近づけないでください。給油中はエンジンを停止してください。
- 間違った燃料を入れると危険です。燃料の種類に間違いがないか、今一度確かめてください。
- エンジンに燃料を補給するとき、くわえタバコや裸火照明の元で行うと燃料が引火し、ヤケドをする事があります。火気の前で燃料を補給しないでください。
- エンジンが熱い間に、給油すると引火しヤケドをする事があります。熱い間は給油しないでください。
- 燃料補給後は、燃料キャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいにふきとってください。火災事故を引き起こすおそれがあります。

も く じ

!	安全に作業するために	
	安全に関する警告について	1
	作業前に	2
	作業中は	3
	作業が終わったら	3
	不調処置・点検・整備をするとき	3

●	初めて使用する前に	4
---	-----------	---

1	据え付け	
	1 各部の名称とはたらき	7
	2 適応エンジン	8
	3 組立部品	8
	1. 解梱	8
	2. 組立部品の明細	8
	3. 組立要領	8
	4 据え付け・移動	9
	1. 据え付け	9
	2. 移動	9

2	運転を始める前の点検	
	1 運転前の点検	10
	1. エンジン各部の点検	10
	2. 製品本体の点検	10
	2 エンジン始動での点検	10
	3 給油箇所一覧表	11

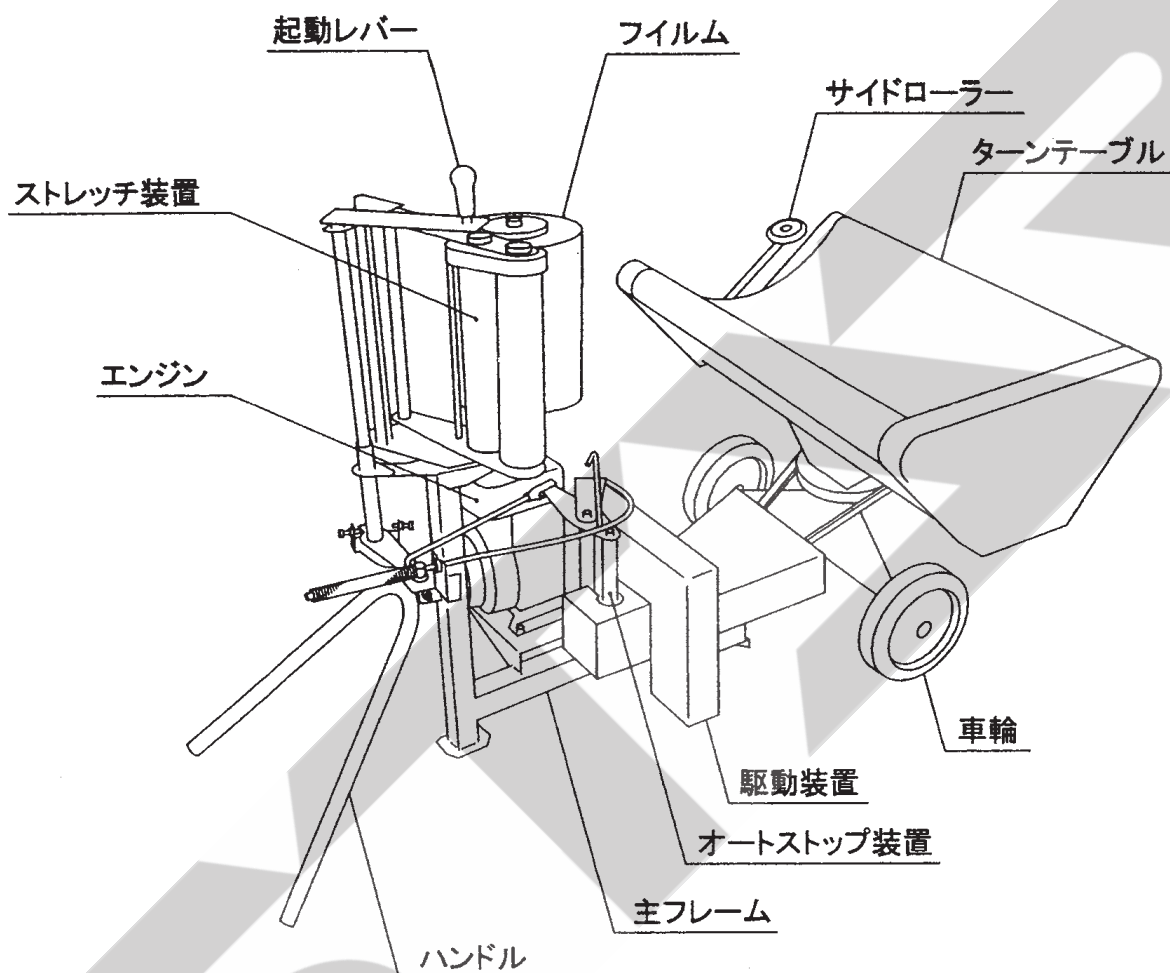
3	作業の仕方	
	1 本製品の使用目的	13
	2 作業をするための調整	13
	1. フィルムの装着	13
	2. サイドローラの調整	14
	3 作業要領	14
	1. フィルムの巻数	15
	2. 本機の起動方法	15
	3. 作業回転速度	16
	4. 作業方法	16

4	作業が終わったら
	1 作業後の手入れ17
	2 長期格納するとき17
5	点検と整備について
	1 点検整備一覧表18
	2 各部の調整19
	1. エンジン側ベルトクラッチ テンションの調整19
	2. 起動レバー関係の調整19
6	不調時の対応
	1 不調処置一覧表20

1 据え付け

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



1. 主フレーム

エンジン・駆動装置・オートストップ装置・ターンテーブル・ストレッチ装置を支えています。

2. ハンドル・車輪

本機を支え、移動ができます。

3. 駆動装置

エンジンからの回転を減速およびベルトクラッチテンションで「入・切」を行い、ターンテーブルに動力を伝えます。

4. オートストップ

ベールに巻き付けるフィルムの巻き付け自動停止装置です。

5. ターンテーブル

ラッピングするベールを搭載し、回転させるところです。

6. サイドローラ

ラッピングするベールの位置支えです。

7. ストレッチ装置

フィルムを装着し、フィルムの引き出される力で駆動するローラよりフィルムを引き伸ばします。

8. 起動レバー

ターンテーブルの回転の「入・切」を行います。

2 適応エンジン

本製品は、適切なエンジンとの装着により的確に性能を発揮できるよう設計されています。
この製品のエンジンは次のとおりとなっております。

エンジン馬力	最大	2.8PS/4,200r.p.m
	連続定格	2.0PS/3,600r.p.m

3 組立部品

1. 解梱

梱包枠に固定されている部品を外してください。

2. 組立部品の明細

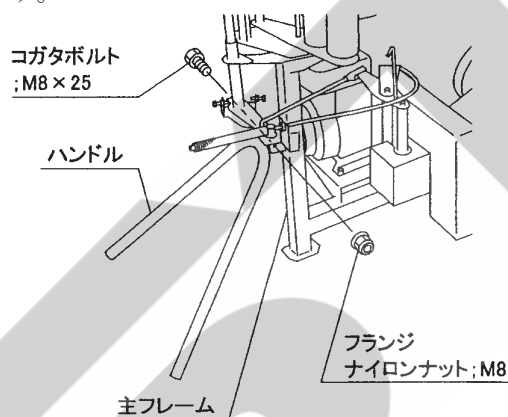
梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品がそろっているか確認してください。

3. 組立要領

各部品の組立に必要なボルト・ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

(1) ハンドルの組み込み

本機主フレーム前側にハンドルを組み込みます。

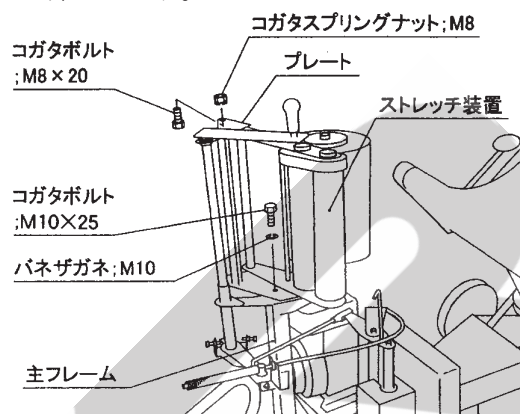


取扱い上の注意

- 組み込みとき、ハンドルが上・下に容易に動くようボルトとフランジナイロンナットの締め付けを調整してください。

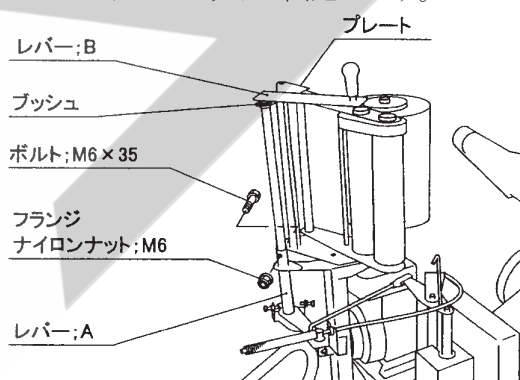
(2) ストレッチ装置の組み込み

本機主フレーム前側上部にストレッチ装置を組み込み、プレート先端穴に上方からブッシュを挿入します。



(3) 起動レバーの組み込み

前述 3-3-(2) のストレッチ装置組み込み後、レバー；Bをストレッチ上部ブッシュ部に差し込み、下部レバー；Aに挿入し、ボルト・フランジナイロンナットで固定します。



取扱い上の注意

- ボルト・フランジナイロンナットをむやみに締め付けますと、レバー；A・Bのパイプ変形が生じますので締め付けには注意してください。

4 据え付け・移動

1. 据え付け

⚠ 注意

- 傾斜地や凹凸地または、軟弱地などに据え付けると、本機の安定性が悪くなり、不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい場所に輪留めを行い、機体をしっかりと固定してください。

2. 移動

⚠ 警告

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速で移動してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を移動すると転落事故を起こす事があります。
路肩は移動しないでください。
- 高低差の大きい段差を乗り越えようとすると、転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると転落し、ケガをする事があります。
また、物を乗せて移動すると、落下あるいは、転倒・横転し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
作業機の上に人や物などは、乗せないでください。

取扱い上の注意

- 本機を車の荷台に積載し、ロープ等で固定する場合はターンテーブル上にロープを掛け、固定しないでください。
機械を破損させるおそれがあります。

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

⚠ 注意

- 始業点検を怠ると、機械の調整不良や破損、傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 冷却ファンやリコイルスターター周囲からゴミ、草およびその他くず等は取り除いてください。

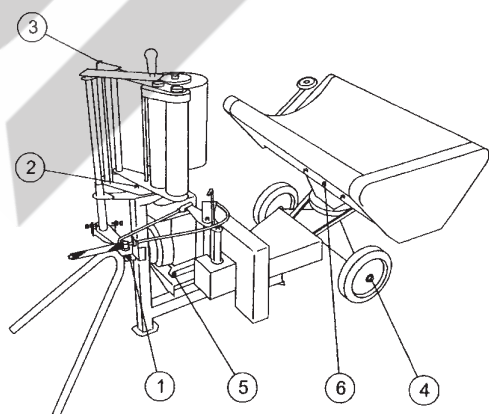
1 運転前の点検

1. エンジン各部の点検

- (1) エンジンの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。
- (2) リコイルスターター、ブロワーハウジング部のメンテナンスに基づき、ゴミや草および、その他くず等が付着していた場合は取り除いてください。

2. 製品本体の点検

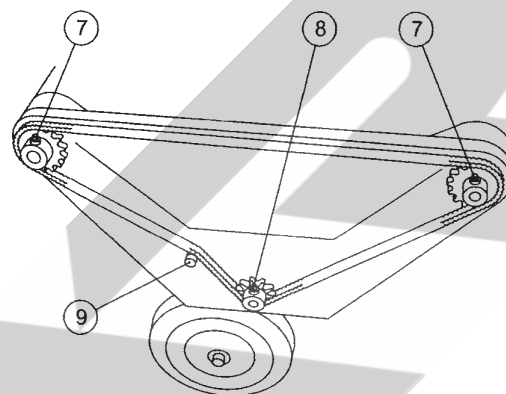
- (1) 各部のボルト・ナットのゆるみがないか、また、ピン類の脱落はないか。
特に次の箇所は、入念に行ってください。
- 符号① ハンドル取り付けボルト・ナット
符号② ストレッチ装置取り付けボルト・ナット 下側
符号③ ストレッチ装置取り付けボルト・ナット 上側
符号④ 車輪取り付けワリピン
符号⑤ エンジン取り付けボルト・ナット
符号⑥ ターンテーブル取り付けボルト・ナット



符号⑦ スプロケット ; 35-20T 取り付けボルト・ナット

符号⑧ スプロケット ; 35-12T 取り付けボルト・ナット

符号⑨ チェーンテンションボルト・ナット



- (2) チェーンの張り過ぎ、または、ゆるみ過ぎはないか。
- (3) 各部の給油は十分か。
油脂が不足しているときは「2-3 給油箇所一覧表」の説明に基づき給油してください。

2 エンジン始動での点検

⚠ 警告

- エンジン始動時は、起動レバーが「OFFの位置」になっている事を確認してから始動してください。
起動レバーが「ONの位置」で始動するとターンテーブルが回転し、ケガをするおそれがあります。
- ハウス内など室内で始動するとき、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

⚠ 注意

- エンジン始動時は、周囲の人に合図をして安全を確認してから始動してください。

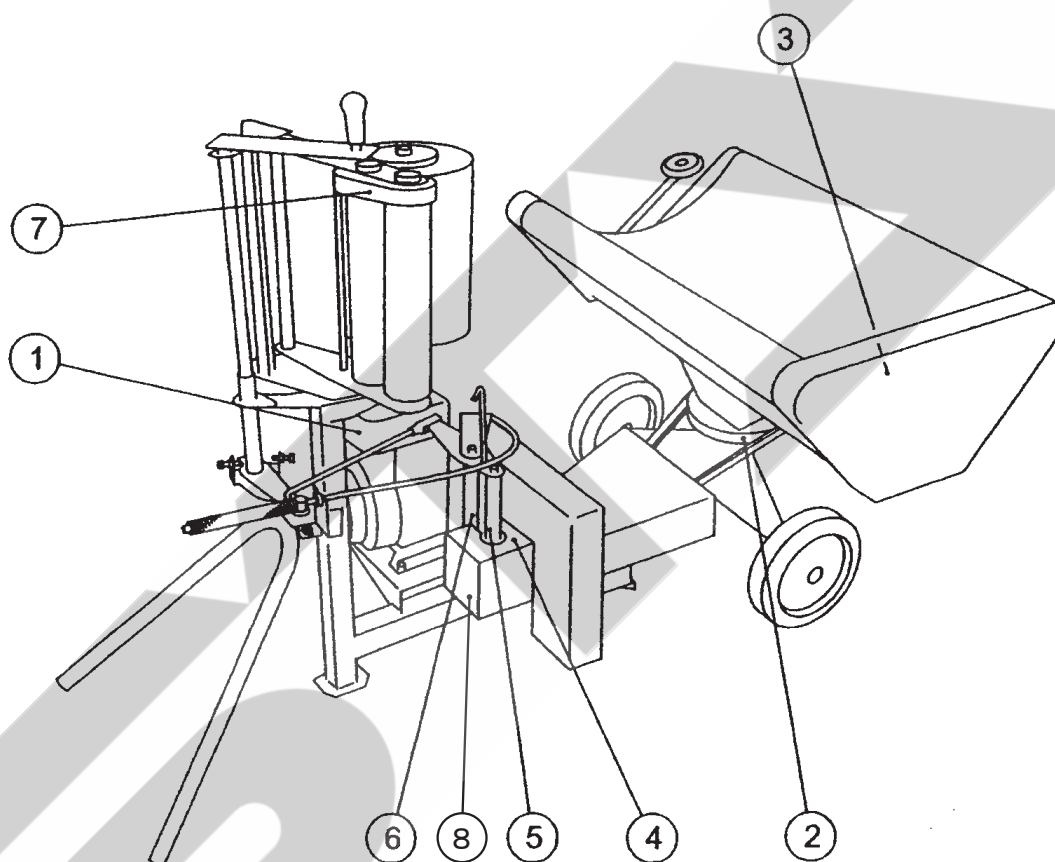
1. エンジン始動での点検

- (1) 起動レバーが「OFFの位置」になっている事を確認してください。
- (2) エンジンを始動し、エンジンに異常がないか確認してください。
エンジンの取り扱いについては、同梱のエンジン取扱説明書をお読みください。

- (3) 起動レバーを操作し、本機を回転させ、異常音や異常振動がないか、確認してください。
- (4) 不具合が見つかったときは、「6-1 不調処置一覧表」に基づき、不具合を解消してください。

3 給油箇所一覧表

- 給油・塗布する油は、清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合は、古いグリースが排出され新しいグリースが出るまで行ってください。
- 出荷時には、十分給油してありますが、使用前に確認してください。



No.	給油箇所	給油数	潤滑油の種類	給油時間	備考
1	エンジン	1	自動車用エンジンオイル		約 0.38 ℓ
2	ギヤ (ターンテーブル)	1	グリース塗布	使用 30 時間ごと	
3	駆動チェーン (ターンテーブル)	1	オイル	使用ごと	
4	駆動チェーン (オートストップ装置)	1	"	"	
5	スライドアームネジ (オートストップ装置)	1	"	"	
6	スライドアームシャフト面 (オートストップ装置)	1	"	"	
7	ギヤ (ストレッチ装置)	1	グリース塗布	使用 30 時間ごと	
8	ギヤ (ウォーム減速機)	1	オイル (VG220 相当)	メンテナンスごと	
	その他軸受・滑動部	—	グリースまたはオイル	使用ごと	

※1 No.1のエンジンへの給油詳細は、同梱のエンジン取扱説明書を参照願います。

※2 No.6のスライドアームシャフト面 (オートストップ装置) に、粘度の高いグリースを塗布すると、スライドアームの動きが悪くなります。

リコイルスターター、ブロワーハウジング部のメンテナンス

リコイルスターターの冷却穴、ブロワーハウジング取付隙間、冷却フィン開口部などからシリンダー他内部を確認し、ゴミや草、およびその他くず等が付着していた場合、以下要領にて清掃してください。

ブロアーハウジング部取り外し要領

- ・写真の附番①、②の順に従い、端子、ボルトを外すとブロワーハウジングが分離できます。
- ・ブロワーハウジングを外すと冷却ファン、シリンダーフィン等が露出しますので、各部位を傷つけないよう注意し清掃してください。
- ・取り外したブロワーハウジング、リコイルスターター裏面のゴミ、くずも同様に清掃してください。
- ・清掃後は分解の順と逆に組み付けをし、リコイルスターター動作、ストップスイッチ組付上の不備が無いか確認してください。(ブロワーハウジング締付トルク：9～11N・m)

☆ (ストップスイッチの端子は組付に不備があると、スイッチOFFにしてもエンジンが停止しない可能性があります。安全上の問題にもなりますので端子接続は端子根元までしっかり差し込む様ご注意ください)

①ストップスイッチの接続端子を引き抜きます



②ボルト 4 本を取り外しブロアーハウジングが外れます

※ ブロワーハウジング内部のゴミ、くず等の付着がある場合、同様にエアークリーナーやキャブレター、マフラー、燃料タンク下部なども汚れている事が考えられます。取扱説明書の要領に従い、その他箇所についても点検、清掃、交換等を実行してください。

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的

1. 本製品は、家畜飼料用バールサイレージ作りのため、円柱形バールにフィルムを引き伸ばし巻き付け密封する機械です。
他の用途には、使用しないでください。
2. 良質なサイレージを作るため雨降り時や濃霧状態で牧草水分が多くなる場合や、ぬかるみのあるほ場、湿気の高いほ場では、作業を行なわないでください。
ほ場が良く乾き、適正な水分で、梱包後早期にラッピング作業を行なってください。

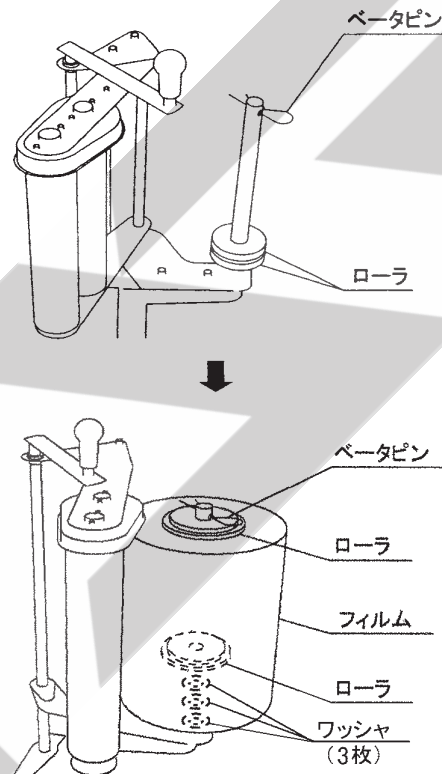
良質なラップサイレージ作りをするために

1. 牧草水分は、50～60%に調整。
水分は多すぎても少なすぎても理想的な乳酸発酵は行なわれません。
特に雨降りや濃霧の場合、水分が多くなるので作業は行なわないでください。
2. 形の良いバール作り。
密度の高い形の良いバール作りに心掛けてください。
3. 梱包後早期密封。
密封が遅れると、バール内温度が上昇し、腐敗菌が増殖されるとともに、タンパク質が熱変性し、消化率が低下し、良質のサイレージができません。
4. 品質の安定したラップフィルムを使用。
気温の変化で性質が大きく変化するようなフィルムは、密封精度が劣る場合があります。フィルムは、保管中の変質を避けることから直射日光の当たらない涼しい場所に保管し、長期保存は避けてください。
5. 密封後のフィルムの損傷穴は必ず補修。
誤ってフィルムに傷をついたり、穴があいた場合は、必ず補修をしてください。
普通のテープ類を使用しますと、水分・太陽熱等によりはがれるおそれがあります。当社指定の補修用フィルムを使用してください。
6. 確実な保管。
貯蔵場所は水はけの良い場所を選び、鳥・ネズミ・虫などの害から守るため、ネットで覆ったり、薬剤を撒くなどの工夫が必要です。貯蔵時の積み上げは密封精度を維持し、保管場所も少なく済む事から2～3段程度の縦積みが理想的です。
荷くずれのしない安定した安全な積み上げ段数としてください。
7. 開封後は、その日のうちに全量給餌。
サイレージは空気に触れると二次発酵を起こし変質が進みます。

2 作業をするための調整

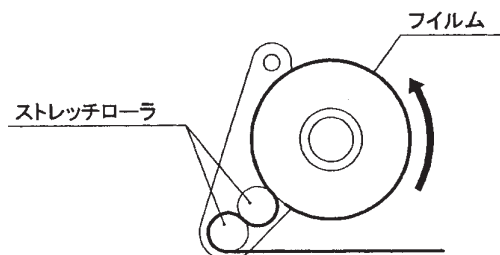
1. フィルムの装着

- (1) ストレッチ装置部のベータピン・ローラを抜き取りフィルムを挿入し、フィルム上部筒穴にローラを挿入ベータピンで固定します。

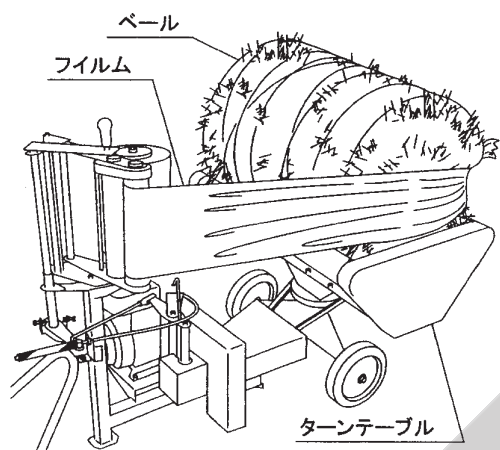


※フィルム筒の長さによっては、ベータピンと上部ローラにガタがあったり、フィルム筒が入らないことがあります。
下部ローラ下のワッシャで調整してください。

- (2) フィルムは、巻き方向が上から見て反時計方向になる状態で挿入します。

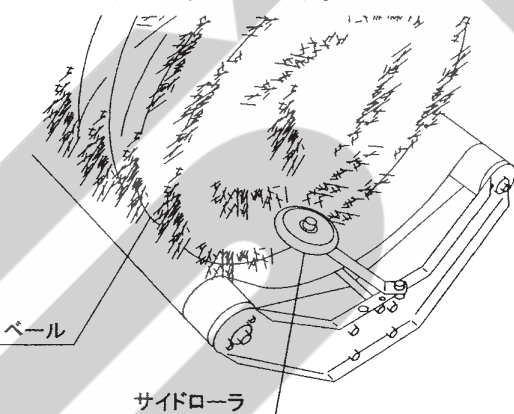


- (3) フィルムを引き出し、図のように通しベール側トワインに結びつけます。



2. サイドローラの調整

- (1) ラッピングするベールをターンテーブル駆動側側板（駆動チェーン側）に寄せ載せてください。
- (2) サイドローラをベール幅に合わせ調整し、ボルト・ナットで固定します。



取扱い上の注意

- サイドローラ調整時、ベール端面とサイドローラとに 30mm ～ 50mm 位の空間をつけてください。
- 調整後、ボルト・ナットは確実に締め付けてください。

3 作業要領

本作業機は、持ちこび移動ができほ場においても畜舎付近でも作業が行えます。

取扱い上の注意

- 30kg を超えるベールでの作業はしないでください。
- また、ターンテーブル上にベールを投げて乗せないでください。
- 機械を破損させるおそれがあります。

警告

- 運転中または回転中、ターンテーブルなどに接触すると、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- いびつなベールや軽いベールをラッピングすると、ベールが振り落とされケガをする事があります。作業しないでください。
- ハウス内などの室内作業をするとき、排気ガスにより中毒になる事があります。窓・戸などを開け、十分に換気をしてください。

注意

- 運転中または回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。
- フィルム巻き付け作業中、フィルムやストレッチローラに接触すると巻き込まれケガをする事があります。作業中はさわらないでください。
- 機械の調整や付着物の除去などを行うとき、エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

1. フィルムの巻数

- (1) フィルムの巻数は、状況に応じて加減してください。

ベールサイレージの長期保存や、より良質なサイレージを作るためには、4層巻き以上に巻き付けてください。

ベール径460～500mm		
50%ラップ 1回巻(2層巻)	50%ラップ 2回巻(4層巻)	50%ラップ 3回巻(6層巻)

- (2) フィルム巻き付けの調整

フィルム巻き付けは、50%ラップで2層巻・4層巻・6層巻に調整できます。

次の方法で調整してください。

- ① 50%ラップ2層巻のとき

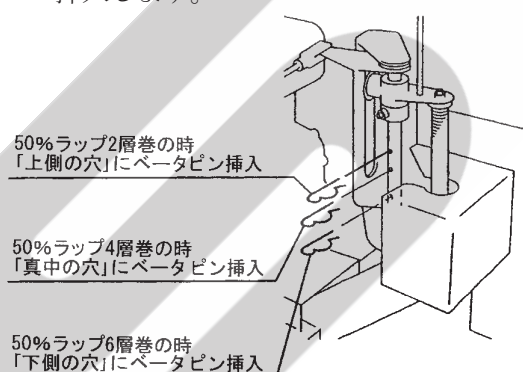
オートストップ装置のスライドアームシャフト部の「上側の穴位置」にベータピンを挿入します。

- ② 50%ラップ4層巻のとき

オートストップ装置のスライドアームシャフト部の「真中の穴位置」にベータピンを挿入します。

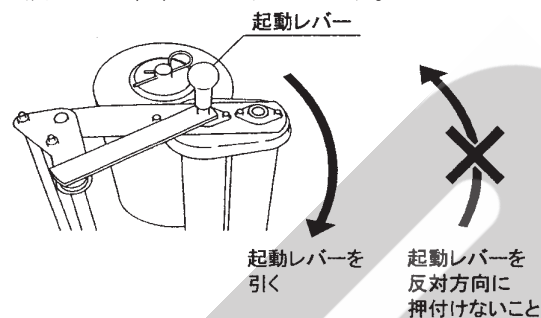
- ③ 50%ラップ6層巻のとき

オートストップ装置のスライドアームシャフト部の「下側の穴位置」にベータピンを挿入します。



2. 本機の起動方法

- (1) 起動レバーを↓印側に引いてください。ターンテーブルが回転するとともに、オートストップ装置のスライドアーム部がフィルム巻き付け調整した位置まで下がります。

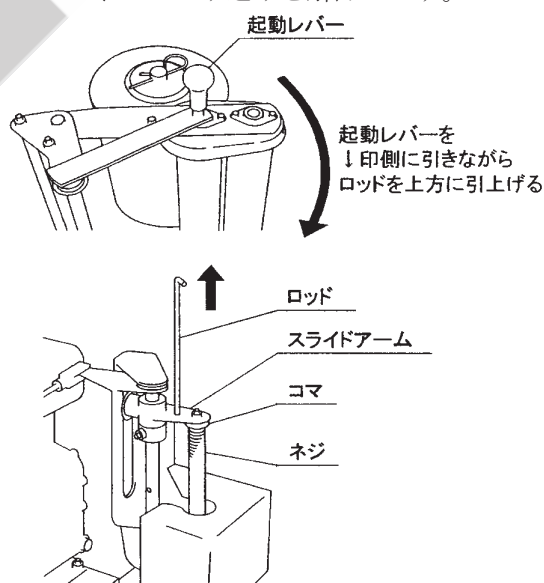


取扱い上の注意

- 起動レバーを※印側には、押し込まないでください。
破損、故障の原因となります。
- 起動レバーは、オートストップ装置のスライドアーム部がフィルムの巻き付け調整した位置まで下がりきるまでしっかり引いてください。
引きが不十分な場合は、正確なフィルムの巻き付けができません。

- (2) 巻き付け作業の途中で中止したい場合は、次の要領でおこなってください。

- ① 起動レバーを↓印側に引きながらオートストップ装置のスライドアーム部上部のロッドを上方に引きあげスライドアーム部コマとネジのかみ込みを解除します。



3. 作業回転速度

本機の回転速度は、エンジンコントロールレバー高速（ウサギマーク）でターンテーブル回転 40r.p.m です。

ベールの形状や重量に合わせ、エンジンコントロールレバーで高速（ウサギマーク）から低速（カメマーク）の範囲で調整してください。

取扱い上の注意

- いびつなベールや軽いベールをラッピングするとベールが振り落とされ、ケガをすることがあります。
回転速度を下げおこなってください。

4. 作業方法

作業は、

- (1) ターンテーブルへのベール積み込み



- (2) フィルムの引き出し、ベール側トワインへの結びつけ



- (3) 操作レバーを引きラッピング開始



- (4) ターンテーブル回転自動停止



- (5) フィルム切断、ベール側フィルム切断端部の処置



- (6) ラッピングしたベールの荷降し・運搬の順に作業をおこないます。

取扱い上の注意

- 30kg を超えるベールでの作業はしないでください。
また、ターンテーブル上にベールを投げて乗せないでください。
機械を破損させるおそれがあります。
- ベールの状況に応じて、巻きつけが不十分と思われる場合は起動レバーを軽く引き（スライドアームが落下しない程度）半クラッチ状態で2～3回転フィルムを巻付けてください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に載っている点検を行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械に付着している牧草等は、きれいに取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないか。
また、破損部品がないか確認してください。
不具合が見つかったときは、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

取扱い上の注意

- 洗車する場合は、エンジンには水をかけないでください。

2 長期格納するとき

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点の摺動部には注油塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業を行えるようにしてください。

⚠ 注意

- 機械に異常が生じたとき、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

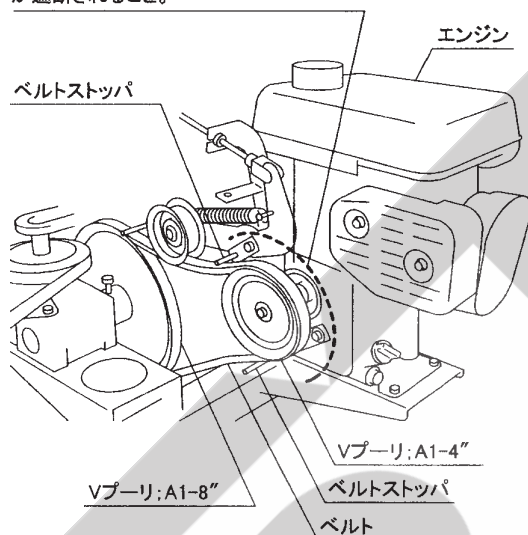
時 間	点 検 項 目	処 置
新品使用前	● 各ボルト・ナット・ピン類のゆるみ・脱落 ● 各部の給油 ● 回転部・駆動系の異常音	● 増し締め、各部補給 ● 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき不足の場合は処置 ● 「6-1 不調時の対応」に基づき処置
作 業 前 作 業 後	● 機械の清掃 ● 各ボルト・ナット・ピン類のゆるみ・脱落 ● 回転部・駆動系の異常音 ● 回転部・可動部の給油、注油、給脂 ● 駆動ベルトの張り具合・破損 ● チェーンの張り具合・破損	● 増し締め、部品補給 ● 「6-1 不調時の対応」に基づき処置 ● 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき処置 ● 調整・交換 ● 調整・交換
	● 破損部 ● 各部の清掃 ● 塗装破傷部 ● 回転支点・ピン等の磨耗	● 補修 ● 塗装または油塗布 ● 部品交換

2 各部の調整

1. エンジン側ベルトクラッチテンションの調整

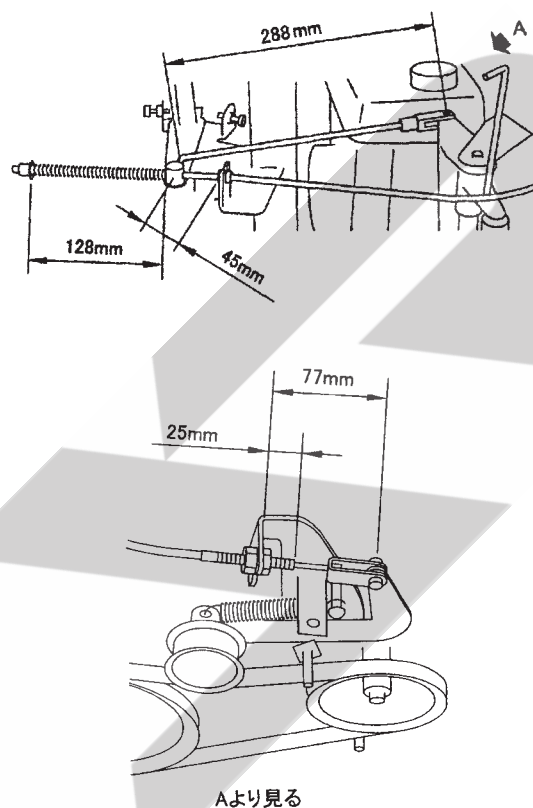
- (1) 起動レバーを引き、オートストップ装置がONの位置（ベルトが張った状態）でエンジンを移動し固定します。
- (2) ベルトストッパーとベルトにスキマ0.5～1.0mmになるよう調整します。
ベルトストッパーとベルトが接触すると騒音・発熱の原因となります。
- (3) 起動レバーを解除（ベルトがゆるんだ状態）し、エンジン側Vプーリ：A1-4”とベルトにスキマが生じエンジンの回転が遮断される事を確認してください。
エンジンの回転が遮断されない場合は、エンジン取り付けボルトをゆるめエンジンをVプーリ：A1-8”側に3～5mm移動し再度調整確認してください。

起動レバーを解除（ベルトがゆるんだ状態）するとVプーリ：A1-4”とベルトにスキマが生じエンジンの回転が遮断されること。



2. 起動レバー関係の調整

オートストップ装置がOFFの状態を図示の通り調整し、ON・OFFを行ない回転が伝達されるかまたは、遮断される事を確認してください。



6 不調時の対応

万一機械の調子が悪い場合は、不調処置一覧表により処置をしてください。

⚠ 注意

- 機械に異常が生じたとき、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

	症 状	原 因	処 置
回 転 部	● 異常音・異常振動	● 機体の据え付（設置）が不安定	● 平坦な凹凸のない地盤のかたい場所に設置する。
		● ベール形状が悪く機体がゆれる	● 輪留めを行ない機体を固定する。
		● チェーンがゆるみスプロケットがとぶ	● 密度の高い、形状の良いベールを作る。
		● ベール形状が悪くベールが回転せずスプロケットがとぶ	● 回転速度を下げる。
	● ベールが回転しない	● ベールの形状が悪いか密度が低い。	● チェーン張り調整
		● サイドローラの調整が悪い	● 密度が高い、形状の良いベールを作る。
	● ベールが落下する	● ベールの形状が悪いか密度が低い。	● ベールの幅に合わせ再調整する。
		● サイドローラの調整が悪い	● 密度の高い、形状の良いベールを作る。
	● トワインおよび牧草が巻き付く	● トワインがほどけない	● 密度の高い、形状の良いベールを作る。
		● トワインがほどけない方向にベールが回転するよう積み込み方向を変える。	● トワインがほどけない方向にベールが回転するよう積み込み方向を変える。
スト レ ッ チ 部	● フィルムの張り不足	● フィルムの装着、通し方が違う。	● 「3-2 フィルムの装着」に基づき調整。
	● 回転と同時にベールからフィルムが外れる。	● ベール側トワインとフィルム端部との結びつけ不良。	● ベールからフィルムが外れないよう確実に結びつける。

	症 状	原 因	処 置
駆 動 部	● ベルトがすべる	● ベルトの張り不良	● 張り調整する。
	● ターンテーブルが 回転しない。	● ベルトの張り不良	● 張り調整する。 ● 「5-2-1 エンジン側ベルトクラッチテンション の調整」に基づき調整。
	● ターンテーブルが 停止しない。	● ベルトの張り不良	● 張り調整する。 ● 「5-2-1 エンジン側ベルトクラッチテンション の調整」に基づき調整。
	● 設定巻数前にオー トストップ装置が 作動し、回転停止 する。	● スライドアーム部が設定位置まで下 がりきらない。	● 起動レバーの引きが不十分、確実に下がるま で起動レバーを引く。
	● スライドアーム部 の動きが悪い。	● スライドアームシャフト面にゴミ等 が付着している。	● ゴミ等を除去しオイルを塗布する。
		● スライドアームシャフト面にグリー スを塗布したため、動きが悪くなっ た。	● ゴミ・グリースを除去しオイルを塗布する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

SPARK

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233